

迎

地方再生

新年明けましておめでとつ
ございます。皆さまには、希
望に満ちた輝かしい新春をお
迎えのことと心からお喜び申
し上げます。

昨年は、議員の改選の年で
した。議員定数が16名から10
名に削減され、8月からは新し
く選ばれた10名の議員でスタ
ートしました。私は8月の臨
時議会におきまして、議員各位
のご推挙により、第20代神崎町
議会議長を拝命いたしました。

議会構成は常任委員会が、
3委員会から2委員会に再編
され、6名もの議員が少なく
なったので、何事も全議員で
行うようになりました。これ
も「平成の大合併」に乗れな
かったため、財政状況を考え
れば当然のことです。

市町村合併は第2ステージ
を迎えています。県は2市4

町（成田市・富里市・栄町・

多古町・芝山町・神崎町）の
組み合わせ構想案を示して1
年経ちますが、中心となる成
田市との合併を平成22年3月
のタイムリミットまでに実現
するには、県の強力なサポー
トが必要になります。本町は
合併から取り残されてしまい、
財政状況はさらに深刻になり
ますので、議会では12月定例
会で合併特別委員会を設置し
て、早期の成田合併にむけて
活動していきます。

そうした中にも明るい話題
は、圏央道インターチェンジ
が松崎地先にできることにな
り、そこにハイウェイオアシ
ス構想が進んでいます。これ
は国・県から相当の財政支援
が必要となりますが、実現し
ますと本町にとっては大きな
財産となります。

国政においては昨年、参議

院選挙が行われました。選挙
結果は、閣僚の不祥事や年金
漏れなどがあり、自民党支持
率が下がり、自民党は大敗。
初めて民主党が第一党となり、

与野党逆転して、衆議院とね
じれ現象となり、新テロ特措
法の成立が難しくなり、安倍
首相は9月の国会の会期中、
突然辞任されました。代わっ
て福田首相が新しく誕生しま
したが、防衛省の汚職問題な
どで会期を延長しても同法の
成立が困難になっていきます。
本年3月に予算が成立した
ら、衆議院の解散が囁かれて
います。参議院の敗北は小泉
政権5年半の構造改革で、都
市と地方の格差ができてしま
ったこと、農業政策では大規
模農家に補助金がいく仕組み
になって、小規模農家を減ら
す政策をとったことです。

地方分権を推進する三位一
体改革では、地方税を増やし
て地方交付税が削減されてい

ます。財政力の弱い町村は全
体的に歳入が落ち込み、さら
に苦しくなっています。地方
は少子高齢化が一段と進み、
場合によっては集落が消え、
人が住みにくくなって、耕作
放棄する農地の拡大が懸念さ
れています。このような状況
を打開するには、都市に集ま
るお金を地方に分散して、町
村が元気を取り戻し、国と地
方が「共生」することが真の
地方分権改革と思います。

町議会は、町民の皆さんの
負託に応えるため、開かれた
議会を推し進め、各地区に出
向いて町民の声を伺い、町政
に反映していくのが選ばれた
議員の責務だと思い、努力し
ていく所存です。

結びに、本年も町議会活動
に対しまして変わらぬご支援
とご協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、
皆さんのご健勝とご多幸を心
からお祈り申し上げます。新年の
ご挨拶いたします。

年頭あいさつ

神崎町議会議長
寶田久元

